

Market Watching

発表日: 2020年8月11日(火)

経済優先で前を向く企業と感染拡大で俯く消費者(マーケットウィークリー)
 ~感染拡大を厭わない経済優先政策は、追加対策抜きでは成功しない~

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
8月3日(月)	日本: 実質GDP (1-3月2次速報・改定値)	▲2.2%	▲2.8%	▲2.2%	前期比年率
	日本: 新車販売台数 (7月)・乗用車	▲19.6%	—	▲26.6%	前年比
	中国: 財新PMI製造業景気指数 (7月)	52.8	51.1	51.2	ポイント
	米国: ISM製造業景気指数 (7月)	54.2	53.5	52.6	ポイント
	米国: 自動車販売台数 (7月)	1,452	1,400	1,305	万台
8月4日(火)	日本: 都区部消費者物価指数 (7月)・総合	+0.6%	+0.3%	+0.3%	前年比
	・除生鮮食品	+0.4%	+0.2%	+0.2%	前年比
	豪州: 金融政策委員会	0.25%	0.25%	0.25%	RBA政策金利誘導目標
8月5日(水)	タイ: 金融政策委員会	0.50%	0.50%	0.50%	翌日物レボ ^o 金利
	ユーロ: 小売売上高 (6月)	+5.7%	+6.3%	+17.8%	前月比
	米国: ADP雇用統計 (7月)	+167	+1,200	+2,369	前月差、千人
	米国: 貿易収支 (6月)	▲507	▲500	▲546	億ドル
	米国: ISM非製造業景気指数 (7月)	58.1	55.0	57.1	ポイント
ブラジル: 金融政策委員会	2.00%	2.00%	2.25%	政策金利 (Selic)	
8月6日(木)	インド: 金融政策委員会	4.00%	3.75%	4.00%	レボレート
	英国: 金融政策決定会合	0.10%	0.10%	0.10%	翌日物貸出金利
	・資産購入フシリテイ	7,450	7,450	7,450	億ポンド
	米国: チャレンジヤー人員削減数 (7月)	+576.1%	—	+305.5%	前年比
米国: 新規失業保険申請件数 (8/1終了週)	1,186	1,415	1,434	千件	
8月7日(金)	日本: 毎月勤労統計 (6月)・現金給与総額	▲1.7%	▲3.0%	▲2.3%	前年比
	日本: 家計調査 (6月)・全世帯実質消費支出	▲1.2%	▲8.0%	▲16.2%	前年比
	日本: 景気動向指数 (6月)・CI一致指数	+3.0pt	+3.7pt	+0.7pt	前月差
	・CI先行指数	+6.6pt	+6.4pt	▲6.7t	前月差
	中国: 貿易統計 (7月)・輸出	+7.2%	▲1.2%	+0.5%	前年比
	・輸入	▲1.4%	+1.0%	+2.7%	前年比
	米国: 雇用統計 (7月)・非農業就業者数	+1,763	+1,578	+4,800	前月差、千人
	・失業率	10.2%	10.5%	11.1%	
・時間あたり賃金	+4.8%	+4.2%	+5.0%	前年比	
8月8日(土)	—				
8月9日(日)	—				

主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.564	+3.6	▲2.8	▲147.8	0.139	0.165	0.780
日本	0.010	+0.0	▲2.0	+20.5	0.016	0.005	-0.021
ドイツ	-0.509	+1.5	▲8.0	+7.2	-0.479	-0.461	-0.402
豪州	0.828	+1.3	▲5.7	▲13.0	0.869	0.902	0.994
株価							
NYダウ	27433.48	+3.8	+6.0	+5.5	26578	25631	26242
日経平均	22329.94	+2.9	▲1.3	+8.8	22563	21781	21933
ユーロSTOXX50	3252.65	+2.5	▲2.1	▲1.7	3308	3155	3332
上海総合	3354.04	+1.3	+0.3	+21.1	3330	3050	2972
為替相場							
ドル/円	105.92	+0.1	▲1.5	+0.4	106.44	107.07	108.18
ユーロ/円	124.85	+0.1	+3.0	+4.9	123.14	120.36	120.12
豪ドル/円	75.81	+0.3	+1.5	+6.3	75.31	73.15	72.54
ユーロ/ドル	1.1787	+0.1	+4.6	+5.3	1.157	1.124	1.111
商品市況							
WTI	41.22	+2.4	+1.5	▲19.3	40.98	35.35	42.21
金	2010.1	+2.4	+11.1	+33.4	1888	1783	1646

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (8/3~8/7) の金融市場は、週内に多くの経済指標が発表されたが、総じて良好な内容だったこともあり、市場のリスク許容度を高めるような形となった。NYダウは5連騰 (前週からは6連騰)。一方で、日本株は注目された企業の今期業績見通しが厳しめのものが目立ったことや、国内での感染者増加に歯止めがかからず、一部地域では緊急事態宣言を発するなどしている状態もあって、週半ばからは軟調な推移に転じた。

今週のマーケットは、週後半に発表される米中の主要月次指標や、政治動向に注目が集まろう。経済指標では、先週は7月分の経済指標で好調な結果となったものが目立ったが、これは企業の景況感が中心で、消費者の景況感や米雇用統計は今一つの内容であった。日欧では新規感染者が再拡大し始めているほか、米国でも引き続き多くの感染者が発生しているが、経済活動に強いブレーキを踏むような政策は避けられていることが、企業の景況感を押し上げる一方で、消費者の景況感には抑制圧力として働いている可能性がある。このギャップは、消費の伸び悩みとして今後現れてくる懸念があり、それによってギャップが拡大すれば企業活動の腰を折るかねない。その場合、最初にほころびが出るのは雇用環境だろう。足元まで改善傾向を強めている企業の景況感でも、雇用判断だけは低迷していることから (米ISM製造業雇用判断DI: 44.3、同非製造業雇用判断DI: 42.1、中国PMI製造業雇用判断DI 49.3、同非製造業雇用判断DI 48.1など)、その可能性は高い。米国では、失業保険の給付金積み増し額の縮小と期間の延長で議会の合意が遅れているが、他の国々でも消費や雇用に関する政策対応が遅れるようなことがあれば、景気は再失速しかねない。今週発表される米中の消費統計や政府の動向は、秋以降の景気を占う上での最重要ポイントになるだろう。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

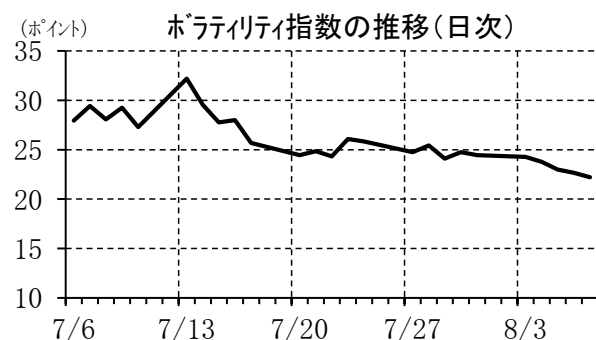
発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
8月10日(月)	中国：消費者物価指数(7月)		+2.6%	+2.5%	前年比
8月11日(火)	日本：国際収支統計(6月)・経常収支 日本：景気ウォッチャー調査(7月)・先行き判断DI 英国：失業率(7月)・失業保険受給ベース ドイツ：ZEW景況感調査(8月)・期待指数	★★★★ ★★★★ ★	+1,328 44.0 — +55.6	+11,768 44.0 7.3% +59.3	億円、原数値 ポイント
8月12日(水)	NZ：金融政策委員会 英国：実質GDP速報値(4-6月期) 英国：鉱工業生産(6月) ユーロ：鉱工業生産(6月) 米国：消費者物価指数(7月)・総合 ・コア	★ ★★★★ ★ ★ ★ ★	0.25% ▲20.5% +9.0% +10.0% +0.7% +1.1%	0.25% ▲2.2% +6.0% +12.4% +0.6% +1.2%	オフィシャルキャッシュレート 前期比 前月比 前月比 前年比 前年比
8月13日(木)	米国：新規失業保険申請件数(8/8終了週) メキシコ：金融政策決定会合	★★★★ ★	1,100 4.50%	1,186 5.00%	千件 銀行翌日物金利
8月14日(金)	中国：鉱工業生産(7月) 中国：小売売上高(7月) 中国：固定資産投資(7月) ユーロ：実質GDP改定値(4-6月期) 米国：小売売上高(7月)・全体 ・除自動車 米国：鉱工業生産指数(7月) 米国：シカゴ大学消費者信頼感指数(8月速報値)	★★★★ ★★★★ ★★ ★★★★ ★★★★ ★ ★★★★	+5.1% +0.1% ▲1.6% ▲12.1% +1.6% +1.3% +3.0% 71.0	+4.8% ▲1.8% ▲3.1% ▲12.1% +7.5% +7.3% +5.4% 72.5	前年比 前年比 年初来前年比 前期比 前月比 前月比 前月比 ポイント
8月15日(土)	—				
8月16日(日)	—				

(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

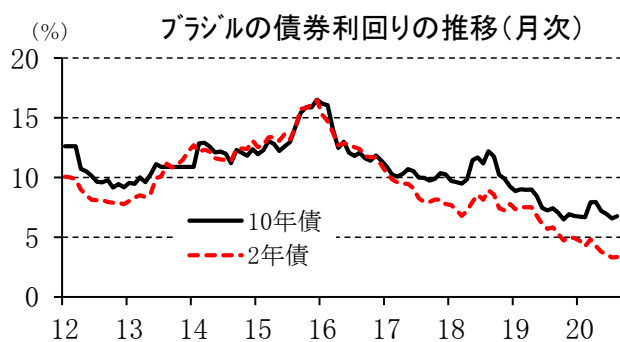
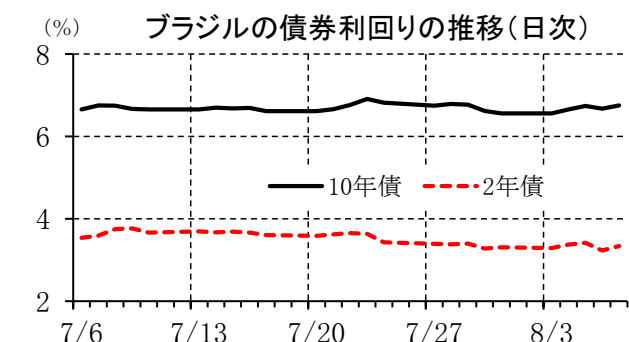
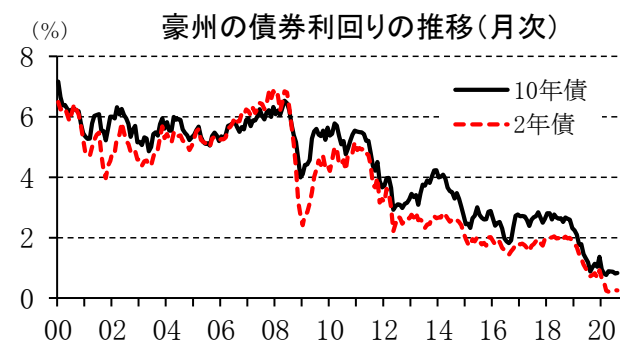
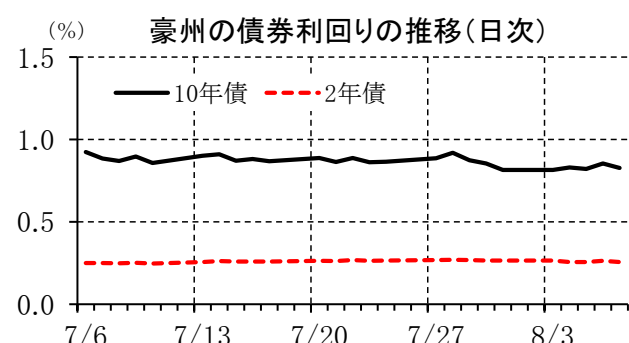
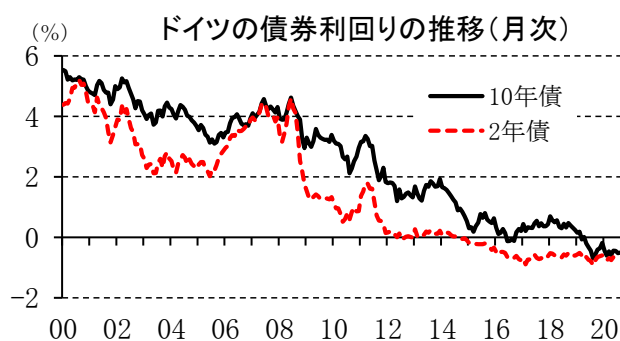
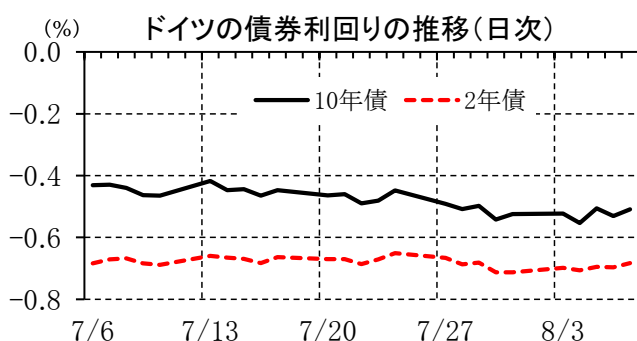
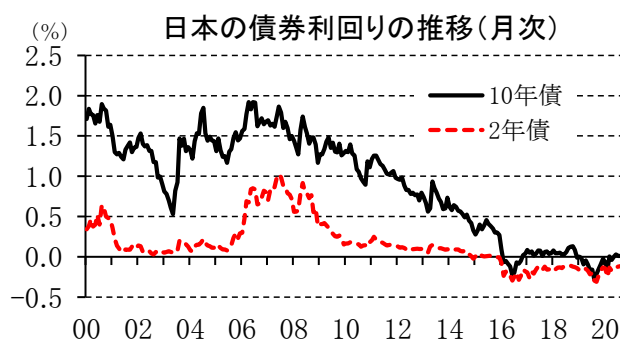
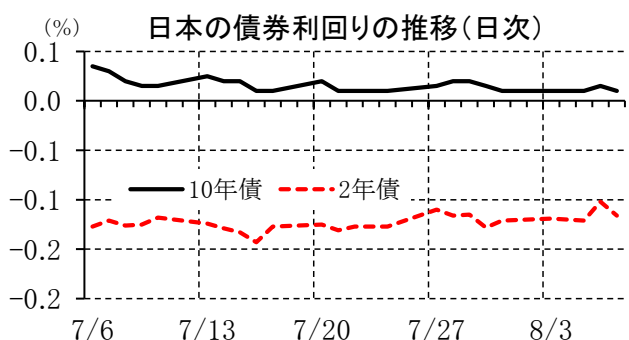
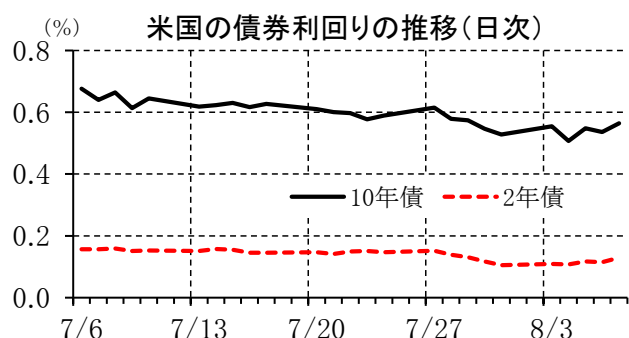
その他の注目イベント・材料

発表日	イベント	注目度	備考
8月10日(月)	—		
8月11日(火)	—		
8月12日(水)	—		
8月13日(木)	—		
8月14日(金)	—		
8月15日(土)	米中貿易協定第1段階合意履行状況確認会議	★	
8月16日(日)	—		

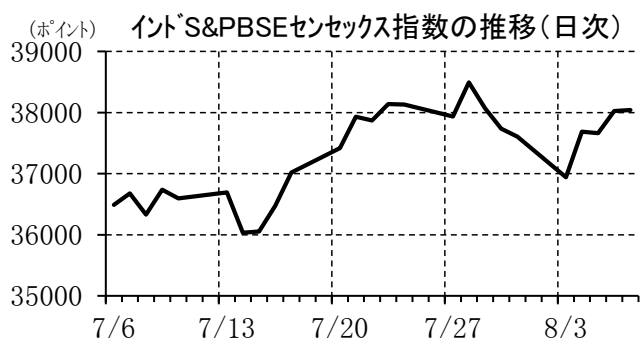
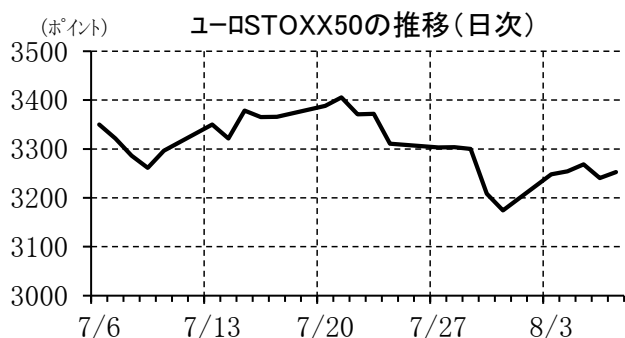
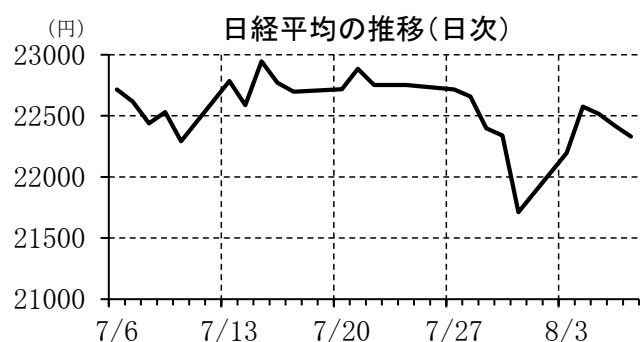
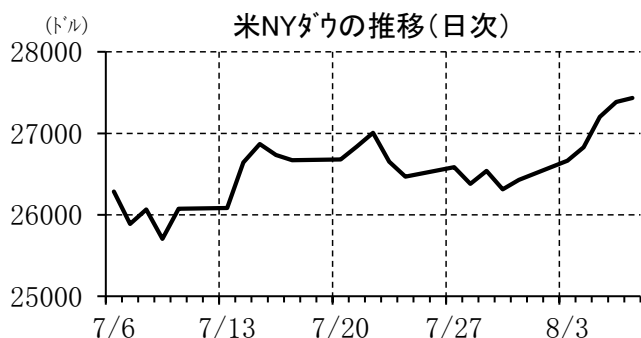
(注) 各種報道等による。注目度は筆者。



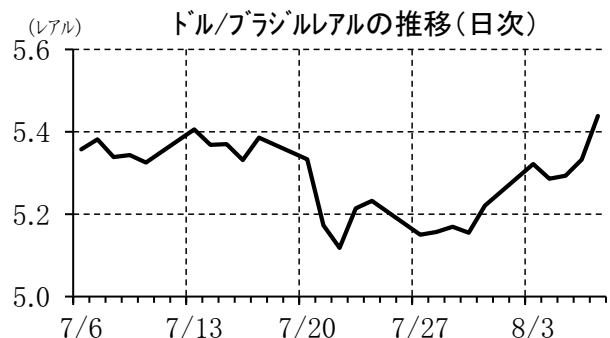
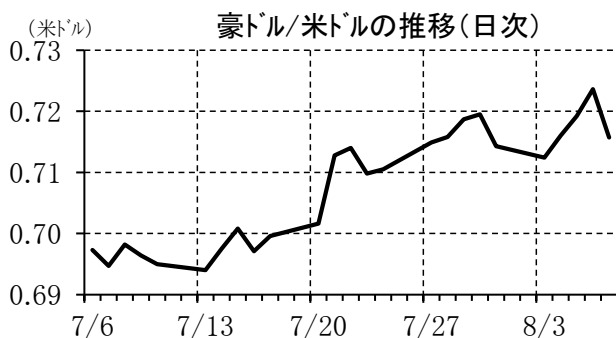
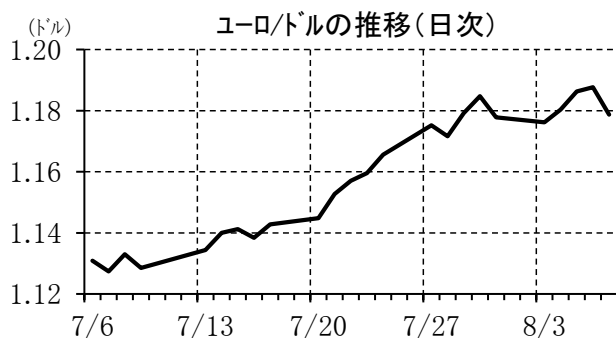
【債券利回り】



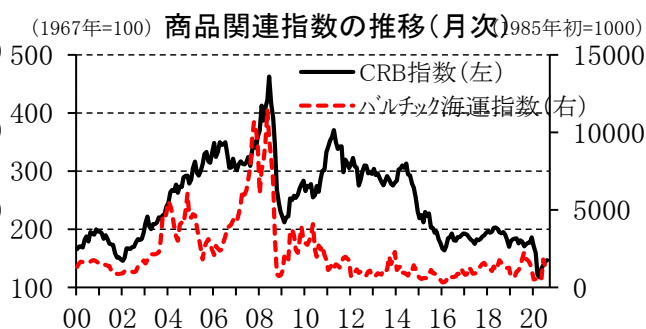
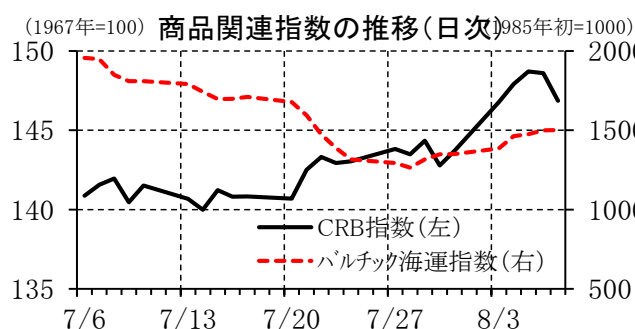
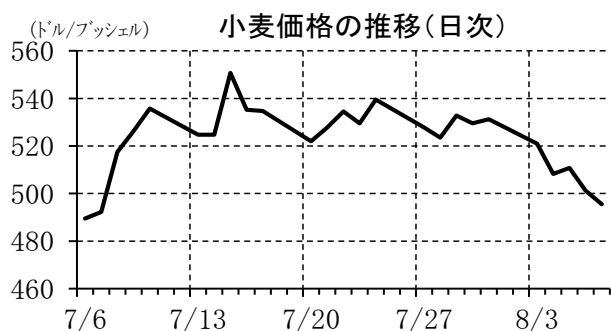
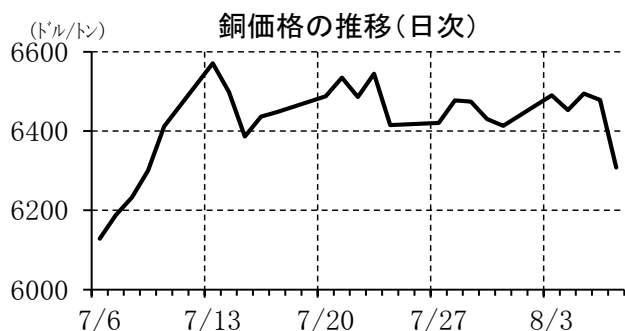
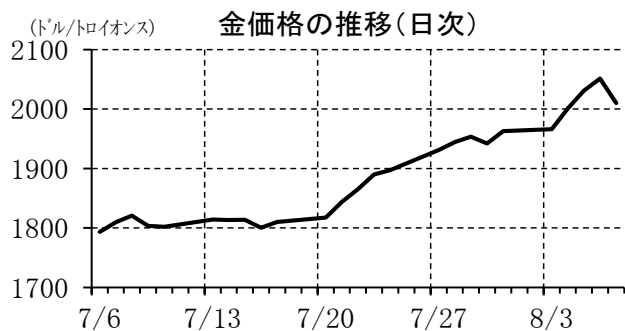
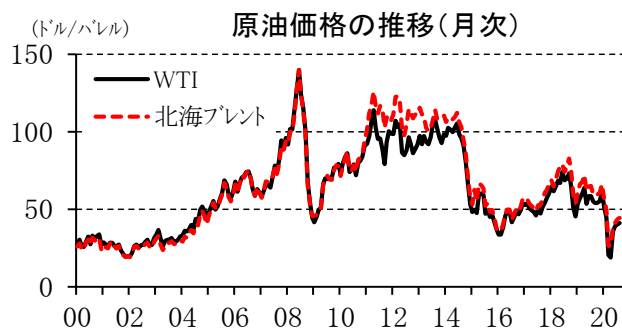
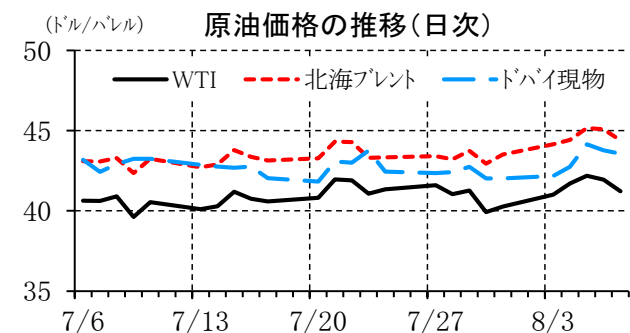
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

